

## 黒坂の歴史と味に触れる

黒坂竹取物語

黒坂地区の自然や歴史について学んでもらおうと、県主催の「日野川の源流と流域を守る会」の催し「黒坂竹取物語」が、4月25日に開かれました。この催しには、町外から約40人が参加。町公民館で、竹の生態と黒坂鏡山城について学習したあと、鏡山城の竹林でタケノコ掘りを体験したり、タケノコの調理実習や滝山公園の散策など、黒坂地区の自然などを満喫していたよつでした。

また、町公民館駐車場では、下黒坂(下菅、小河内などの住民による「九路坂市」も開かれました。

地元の野菜や珍しい山菜、タケノコご飯などが格安で販売され、参加者はお土産にと買い求めていました。



安心・安全な地元の野菜が大人気



計算された無駄のない動き

## 訓練の成果を披露

町消防ポンプ操法審査会

消防団員が、日ごろの訓練で身につけた技術を競う、町消防ポンプ操法審査会が、4月26日、ひのっこ保育園所で開かれました。

ポンプ操法は、4人1組の団員が、消防ポンプ車を操作し、火点(標的)に向かって放水、それを終了するまでの動作や時間などを競うもの。

今回は、第1から第3までの各分団から1組ずつの選手が出場し、練習を重ねた成果を披露しました。

7月5日には、第51回県西部消防ポンプ操法大会が、米子市の県消防学校で開かれます。

## 新緑を楽しんで

宝仏山 山開き

4月29日、宝仏山(標高10005m)の山開きが、町民俗資料館前で開かれ、登山客ら約40人が参加しました。

神事のもと、ごうぎんすぎの子会の冥賀宏忠会長が、「今日はすばらしい天気恵まれた。新緑の宝仏山をゆっくり楽しんでください」とあいさつし、登山客を送り出しました。

また、資料館の前では、資料館友の会による「お休み処」も開かれ、コーヒーやお茶の無料サービスが行われたほか、セルフひのによる出張販売も行われ、登山客らを温かくもてなしていました。



熱いコーヒーで登山客を迎える



泥の感触を楽しみながら

## 懐かしい顔と再会

下黒坂地区交流会

5月4日、下黒坂地区内で、帰省してきた地元出身者と地区住民の交流会が行われました。

まず、地区内の水田で交流田植えが行われ、約40人が一斉に並んで、昔懐かしい田植え唄に合わせながら苗を植えていきました。

そのあと、総勢約130人が参加しての、第50回目にあたる下黒坂地区体育祭が、下黒坂グラウンドで行われ、水入れや花吹雪など、おなじみの競技に汗を流しました。

交流会の最後は、下黒坂ふれあい会館での懇親会。料理を囲んで昔話に花が咲き、久しぶりの帰省を喜び合っていました。

## 里山の暮らしを満喫

上菅地区農業体験交流

農業体験を通して、町外の人たちと交流しようと、里山元気塾（小谷博徳塾長）主催の農業体験交流会が、5月10日、上菅地区内で開かれ、町内をはじめ、鳥取、倉吉、米子などから約40人が参加しました。

交流会は、田植え唄に合わせての田植えから始まり、続いてサツマイモの苗植えを行いました。

また、菅福社会体育館で「代みて」が行われ、地元産の米や山菜などを使った里山料理が、地元住民により振る舞われました。

参加者は、ふだん味わえない料理に舌鼓を打ちながら、交流を深めています。



学生の参加も多くありました



地元客でにぎわいます

## 手作りの品が格安で

日野高シヨップが開店

日野高校の生徒たちが作った草花や、豆腐・ジャムなどの加工品を販売する日野高シヨップが、5月9日、町商工会館前で開店しました。このシヨップは、12月までの毎月第2土曜日に開かれます。



お腹から声を出す



6日には説明会を開催

## 今年の後醍醐天皇が主題

町民ミュージカル稽古開始

11月22日に上演する町民ミュージカル「怒りの孤島（仮題）」の稽古が、5月から始まりました。

今回は、隠岐に流された後醍醐天皇や、金持景藤などの町内のゆかりの人物などが登場する物語で、大人・子ども合わせて28人の出演者が頑張っています。どうぞお楽しみに。

## 大坂城で盛大に開催

「ひの郷会・奥渡会」花見会

関西地区在住の奥渡地区出身の皆さんによる「奥渡会」と、関西地区在住の日野町出身者による「ひの郷会」の花見会が、4月12日に大坂城公園で開かれました。

その様子を、会員の木山久嘉さん（兵庫県三田市）にお借りいただきましたので紹介します。

今年は、4月上旬の花冷えで、桜の花が中旬まで満開が続き、絶好の花見日和の中、12日に花



懐かしい顔ぶれがそろう

見会を開きました。

昨年までは奥渡会の花見会を独自に開いていましたが、今年には皆さんの協力で、ひの郷会との協賛で開くことができました。

今回は20数人の参加があり、日野町からは、景山町長、遠藤宮紀さん、中部総合事務所山根主幹に高速バスで参加いただきました。紙上を借りてお礼を申し上げます。今年もお土産に、風月堂の栗まんじゅうを賞味させていただきました。

持ち寄った家庭料理は、店の味付けとはまた違う風味で、特に、わさび漬は各自独自の風味でした。遠藤さんには「根わさび」をその場で調理いただき、これは珍味でした。

景山町長の話の中で、「単年度で黒字決算に転換し、町民と共に頑張ってください」と聞き、皆で拍手を送ると共に、賞賛・感動をいたしました。

これからも、日野町の皆さんの「英姿颯爽」を見せていただきますよう祈念いたします。